

ほいく誌ファン

No.60

第2回 ほいく誌普及拡大会議

■ほいく誌の読み合わせ（黙読）

～著者の杉谷さんをお迎えして

*杉谷さんは、名古屋市千種区 大和学童保育所 ももたろうクラブの設立当初から勤めておられる経験豊富なベテラン指導員さんで、指導員研修の講師も担っていただいています。

2022年1月16日（日）に、2021年度 2回目のほいく誌普及拡大会議を行いました。今回も、新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン参加を基本とし、各地域担当者と県連協関係者合わせて35人が参加しました。

今回の普及拡大会議では12月号56ページ～実践ノートを取り上げて、その著者である杉谷さんをお迎えし、短時間で参加者それぞれが黙って読む「黙読」を行いました。

この『実践ノート』コーナー（11月号～2月号）には、「コロナ禍の学童保育」として、緊急事態宣言の発出による突然の臨時休校、感染予防などに翻弄されながらも、学童保育の子どもたちの生活を守り抜いた、指導員さんの実践記録です。難しい状況での指導の工夫、こどもに対する熱い想いや保護者との素敵な関係など、コロナ禍の日々の様子が綴られています。



杉谷さんからは、コミュニティセンターと連携した分散保育の取組の経緯や、ひとつひとつの感染対策の指導では「なぜ、やるのか」丁寧に伝えて学ばせていることなど、長年の経験に裏付けされた貴重なお話を伺うことができました。また「私にとって日本の学童ほいく誌は、教科書です！」とのコメントもあり、ほいく誌へのリスペクトも垣間見ることができました。

多くのコメントをいただきました

- ▶コロナ禍は親も子ども辛いですが、学童保育のありがたみ、指導員さんへの感謝、社会に認めてもらうことの大切さを改めて感じました。
- ▶杉谷さんの温かいお人柄と子どもたちへの気づかい、思いが伝わりました。穏やかな語りにも癒されました。
- ▶他学童の取組を学べるほいく誌実践ノートは、指導員、保護者にとって大きな存在なのだと感じました。

【ほいく誌ファンとは】

県内各地で行われている『日本の学童ほいく』の普及・拡大活動を紹介し、みなさんの地域での活動に活かしてもらうための情報紙です。

※文中の「ほいく誌」は、月刊誌『日本の学童ほいく』のことをあらわしています。

ほいく誌の購読料391円/冊（定価）は、約2/3が全国学童保育連絡協議会の制作費や活動費に、約1/3が還元金として愛知学童保育連絡協議会の収入の一部となり活動費に充てられ、活動を支援しています。

■ 地域目標に対する取り組み状況

地域	2021年度の取り組み目標	2021年度目標 中間報告 (○達成、△達成予定、一未達成または困難)
千種区	1冊増を目指す。	△ 今後の区連協議会でも、話題にし、目標達成に向けて協議していく予定です。
東区	全家庭で購読しているが、ほいく誌について読まない、読みきれないとの声があります。もっと活用できるように、数量の見直しや購読の機会を増やせればと思います。	△ 赤塚・全家庭+1、徳川・全家庭+1、筒井葵・全家庭+3、第二筒井葵・全家庭+2、矢田・全家庭+2 読み合わせはできているところとできていないところがあります。
北区	区連協議会時に読み合わせを行います	△ 対面の会議を再開してからは読み合わせを行えています。
西区	各学童1部増やす	△ 一学童で実施。学童により認識不足のため、再度共有。今後、目標に向けて取り組み予定
中村区	区連協で読み合わせ 合同入所説明会などで見本誌を配布	○
昭和区	正規指導員に購読を促し、1冊以上増を目指す	○
瑞穂区	10冊増を目標	△
熱田区	2020年度に引き続き保護者会でほいく誌をとりあげ、保護者に認知してもらう。また、購読料が連協の活動費に充てられることも周知していく。	△ 数冊は増しましたが、まだ目標には達していません。引き続き取り組みます。「日本の学童ほいく」から、よいと思った記事を区連協運営委員会や父母会で紹介していますが、「コロナ禍での有効活用」につながっているかどうかは分かりません。年度末まで、「日本の学童ほいく」の記事の中から、コロナ禍での他の学童の取り組みなどを見つけて、紹介していこうと思います。
中川区	オススメ記事を毎月1記事プリントして、持ち帰りできるような取り組みを出来たらと思います。 5冊増冊を目指して取り組みます。	○ 昨年度より購読数増。保護者会で見本誌を配布して興味を持って貰った。また知人が掲載されている記事を周知することでより身近に感じてもらい購読しやすい環境づくりを継続していく。
港区	区連協幹事会で読み合わせを実施すると共に、全世帯購読ではない学童へは、父母会で働きかけをもちます。	○ 父母会を開けていないところも多く、普及にはいたっていない。区連協定例会時には、オススメ記事を読んだ感想を1人ずつ出し合いながら、交流している。
守山区	昨年に引き続き、区連協や父母会での普及アピールをしていきます。	○ 10月号より一冊増誌
緑区	昨年に引き続き、各学童の正規指導員の分と父母会で1冊以上の購入を普及していきます。	△ 一部学童で達成。今後区連協からもアピールしていく予定です。
名東区	購読の必要性を各学童に周知する 内容の有用性及び活用方法を各学童に周知する	○ 全学童にて目標達成。
天白区	区連協役員が各学童の父母会で紹介するなどし、知らない方に知ってもらえるように努める。	△ 各学童の区連協役員から、父母会で周知するところまでは行っている
	父母会でほいく誌を知ってもらう機会を作る	△ これから区連協の会議で各学童に展開して、ほいく誌を知ってもらう機会を作る予定です。



■ 地域目標に対する取り組み状況

地域	2021年度の取り組み目標	2021年度目標 中間報告 (○達成、△達成予定、—未達成または困難)
豊橋市	正規指導員に購読を促し、1冊以上増を目指す	○ 5月からモニターに応えるのと合わせて、正規指導員1人の購読増があり。引き続き購読を促していく。
春日井市	担当者の選出 保護者会などで「ほいく誌」を取り上げる	
豊川市	運営委員会では引き続き読み合わせを行いつつ、指導員さんひとりひとりに購読を促すスタイルはとっていかうと考えています。	○ 運営委員会での読み合わせを行っています。次回の運営委員会では、前もって読み合わせる記事を決めておき、運営委員会で読んだ感想をみんなで話合うスタイルで検討しています。指導員さんへの購読は引き続きすすめています。読み合わせについても、各クラブで読み合わせをし、紹介する時間を設けるクラブもあります。
津島市	2020年度と同様。コロナ禍の中でも実施できる方法を考える。	○ 保護者にほいく誌普及に関するアンケートを実施し、結果を基に話し合いました。普及の意味合いとして内部から目にしてもらうアイデアから市連協ニュースにオススメ記事を紹介してもらう事案があり、定例会で提案しました。また、なかよし・にこにこでは、ほいく誌は、会長、副会長、学年役員、指導員にお渡ししていますが、その本を知らない保護者も多いので、父母会でもほいく誌の読み合わせや、オススメ記事の紹介を父母会レジメに載せてるのも良いのでは？という案もあり、実施したいと思っています。公共施設、医療機関、自営業関連にほいく誌を置いてもらい手に取ってもらえる環境を作ろうと、行事役員を始め、父母会でもご協力をお願いし、動いている最中です。
安城市	最低限、現状の冊数は維持する	
犬山市	■ほいく誌の認知度向上 引き続き、定例会では読み合わせではなく黙読することで、定例会に参加している役員自身がほいく誌の有用性を実感できる環境をつくる。そのうえで、口コミなどで各クラブで少しでもほいく誌への興味関心が増えることに期待する。	
大府市	多少一方向の発信となっても、引き続き認知度の向上を進める。	△ 各学童では読み合わせする時間が取れずですが、全世帯購読は継続してます。
	対話に慣れてきたり、直接集まったの父母会ができてきたら読み合わせ等も検討	△ 学童以外の関連団体への働きかけはまだできていません。
尾張旭市		



がくくん



いくちゃん



■全体での意見交換

ほいく誌を読むことは、学童保育を学ぶツールのひとつでもあり、また各学童保育や地域連協の活動の支えにもなっています。今回の会議では、主に2つの意見がありました。頂いたご意見については、全国連協のほいく誌編集会議で取り上げていきます。

①ほいく誌を普及させるには

ほいく誌は、区連協担当にならなきゃ関わっていないのが、現状の学童です。バックナンバーの新入生家庭への配布や、ピックアップした記事をコピーしたものを父母会資料と一緒につけてもらうかがとっかかりとしてできそうだなと思いました。

ほいく誌の内容を広めたいのか、商品として拡販をしたいのか、それにより最適な取組は異なるのでは？

ほいく誌普及の目的をまず明確にして、各地域に落とししていく必要があると思います。

普及拡大をしていくなれば、もう少し自然と興味を持ってもらえるような内容に。

学童保育の内部で部数を増やす限りは、連協運営費を自分持ちしてるのと違いがないので、連協会費をほいく誌込みとする方がほいく誌を維持する在り方としては適当ではないか。

昨年からはほいく誌に目を通すようになって、ほいく誌などで学童保育の方向性などを確認していくことは思っていたより大事なことだという認識にはなりました。

②電子媒体化について

ちょっとした隙間時間にスマホなどから読めるのは今の時代マストなのではと思います。

画面のスクロールは頭に入りにくいし残りにくいので、今の若い方にも合わせて、紙面とSNSの併用ならばとは…とは思っています。

デジタル化で費用を抑制するのは一つの場合ではあるかもしれませんが、部数が上がれば価格は下がるので個別の負担は今よりは少なくなる。



■ 地域目標達成に向けた情報交換

今年度、増冊や興味深い取り組みを行っている名古屋市中川区や昭和区、津島市、豊橋市、豊川市のほいく誌担当から取り組み内容の紹介を兼ねて情報交換しました。

ほいく誌の読み合わせは、ほいく誌を知り、親しみ、学びを得る貴重な機会です。多くの学童や各地域連協の会議で取り入れており、参加者で順に読み進めるスタイルが一般的です。

これを豊川市連協では事前に記事を読んできて、意見や感想を話し合うことで、より深く親しむとともに、交流を通じて活用できているという実践報告がありました。

また、おすすめ記事を各連協のニュースや父母会のレジメなどで紹介することで、身近に感じてもらったり、興味をもってもらうきっかけをつくるという提案もありました。

ほいく誌モニター応募を広く呼びかけると手が上がらないが、個別に紹介すると気軽に対応いただけたとという例も紹介され、読み始めるいい機会として利用もできると思います。

購読数の安定化の観点では、学童保育で予算化し、会長や副会長、指導員などへ配布したり、公共施設や医療機関の窓口、自営業関連などの店先に置いていただくように、父母会などで働きかけているという報告もありました。

『[県連協HP](#)>日本の学童ほいく』では「[いっぺんよんでみよ](#)」で、おすすめ記事の紹介や資料掲載用に広報キャラクター画像の提供を行っていますので、ご活用ください。

■ 普及拡大会議に参加した感想

読み合わせにて、記事を書かれた杉谷さんの直接のお話しを聞いたのが興味深かったです。こういうのが、ほいく誌にかかわらない父母に聞く機会があれば、ほいく誌に興味を持つきっかけになるのではと思いました。

参加されている方が、読み合わせや感想を定例会で話されているとお聞きして、感心と、同時にびっくりいたしました。

感想を語り合うことはハードルが高いかもとご意見ありましたが、現役保護者でもある私はそうは思いません。みんなで、ほいく誌をもとに子育てで悩んだり迷っていることを話ができるので貴重な時間だと思っています。

ほいく誌の普及について、読みやすい所からみてもらう等、助言頂けてよかったと思います。父母会等で取り上げられたらと思います。

確かに、表、裏表紙だけでも、心が温まります。読んでみます。

お知らせ

◆第2回ほいく誌交流会 2022年4月3日(日)
詳細は次ページ参照

がくん



いくちゃん



第2回 ほいく誌交流会のご案内



『学童保育の **お**やつ・遊び』

日時：2022年4月3日(日) 10時30分～12時 (受付開始 10時～)

場所：Zoomでのオンライン開催

※ZoomではカメラをON、マイクは発言時のみON
(発言しない時はミュート)にしてください



内容：**おやつ・遊びのほいく誌記事紹介・
切り紙で遊ぼう・地域交流 など**

※当日は、ほいく誌11月号・折り紙・ハサミをご準備ください

★**工作の実演** もあるので
ぜひ、お子さんと一緒に
参加してみてくださいね♪
ほいく誌担当者以外でも
大歓迎です!

＜ 参加の申込みはこちらから ＞

下図 QRコードを読み取っていただく、
もしくは下のURLリンクからお申込みください



3月26日(土)×切
<https://forms.gle/DrFmX3X2NYeMas5d6>



©2021 あいちがくどう

ほいく誌部会
愛知学童保育連絡協議会
名古屋市学童保育連絡協議会
〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町9-7
労働会館東館308
TEL: 052-872-1972 FAX: 052-308-3324
E-mail: hoikushi@gakudou.biz

